

製造者情報

会社名 笠井産業株式会社  
住所 大阪府八尾市南木の本1丁目9番地  
担当部門 本社工場 品質管理部  
電話番号 072-923-3681(代)  
FAX番号 072-991-7033  
改定 平成21年 10月1日

製品名 カピロンGPET プレート ( K-GPET )

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学品名 : ポリエチレンテレフタレート (PET)  
成分及び含有量 : PET 樹脂 100% w t  
官報公示整理番号(主成分) : (化審法) 7-1022  
C A S NO. : 25640-14-6  
国連分類及び国連番号 : 分類基準に該当なし

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当せず。  
危険性 : 自消性(着火した場合、加熱火炎が無くなれば燃え続けない。)  
有害性 : 該当しない  
環境影響 : 該当しない

応急措置 目に入った場合 : 板状物質につき通常取扱時には問題ないが、切断加工時等で切粉が目に入った時は、水で十分洗浄し、必要に応じ医師の診察を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 高温の溶融物が付着したら、直ちに清浄な水で冷やし医師の手当てを受ける。皮膚状に固まった樹脂を無理にはがさない。  
吸入した場合 : 溶融物から発生するガスを吸い気分が悪くなった場合は直ちに新鮮な空気のある場所に移り、回復を待つ。  
回復しない時は医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 消化器官に吸収されないので、無理に嘔吐させる必要はないが必要に応じ医師の診察を受ける。

火災時の措置 消火方法 : 空気呼吸器を着用して消火に当たる。  
消火剤 : 水、泡・粉末消火剤。

漏出時の措置 : 回収除去する。

取扱、及び  
保管上の注意  
取扱 : 火気を近付けない。  
保管 : 酸化剤との接触を避ける。粉塵の発生とその蓄積を避ける。  
直射日光を避け、常温で水平な場所に寝かせて保管する。  
高温で変形を生じる。

暴露防止措置  
管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度 : 日本産業衛生学会は特に定めていない。  
設備対策 : 板状物質で通常の手扱に問題ない。ただし、不十分な喚起状況、  
粉塵、熱の発生、乾燥等の特別な環境下では現場に換気装置を設  
置または密閉設備にするか、呼吸保護具を使用する。  
洗浄設備は洗顔、洗浄、シャワー設備を設置することが望ましい。  
保護具  
呼吸用保護具 : 機械加工等で、粉塵の発生する作業は、防塵マスクを着用する。  
発生ガスの多い時には有機ガス用マスクを着用する。  
保護手袋 : 板を扱う時は特に必要ないが熔融樹脂を取扱うときは断熱性の高  
い手袋を着用する。  
保護眼鏡 : 機械加工等で粉塵の発生する作業では、樹脂製の保護眼鏡の着用  
する。  
保護衣 : 板を取り扱うときは通常の作業着でよいが、熔融樹脂を取り扱う場  
合は長袖の作業着を着用し、やけどに注意する。

物理・化学的性質  
外観等 : 透明又は着色した板状  
沸点 : 該当せず 蒸気圧 : 該当せず  
軟化点 :  $>100^{\circ}\text{C}$  揮発性 : 該当せず  
比重 :  $>1$  溶解度 (水) : 溶解しない。

危険性情報  
引火点 : なし  
発火点 : なし  
爆発限界 : 上限、下限 共になし。  
可燃性 : あり  
発火性 (自然発火性、水との反応) : なし  
酸化性 : 常温では安定である。  
粉塵爆発性 : 板状物質で問題なし。  
安定性・反応性 : 通常の手扱では安定である。強い酸化剤に反応する  
ことがある。

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む。）

- 吸入 : 適切な訓練を受けた作業員による通常の生産工程、流通過程においては取扱上の危険性は低い
- 誤飲 : 誤飲による危険性は低い
- 皮膚 : 溶融物に触れるとやけどをする
- 目 : 適切な訓練を受けた作業員による通常の生産工程、流通過程においては取扱上の危険性は低い

生態影響情報 : 生態影響度は知見なし

廃棄上の注意 : 「産廃物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の産業廃棄物、廃プラスチック類に該当する。廃掃法に従い、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が処理を行っている場合にはその自治体に委託して処理をする。焼却するときは公認の焼却処理業者または自治体に処理を依頼する。

輸送上の注意 : 直接日光や風雨にさらされないようにカバーをする。梱包装が破れないように荷崩れ防止に注意する

航空 : 国際民間航空機構 (ICAO) 分類 : 適用なし

海上 : 国際海事危険物 (IMDG) 分類 : 適用なし

適用法令 労働安全衛生法 : 通知対象物 なし

その他

《お願い》

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。又、注意事項は通常取扱を対象としたもので、特殊な取扱の場合には、用途用法に適した安全対策を施して御利用ください。尚、記載内容は情報提供でありそれを保障するものではありませんのでそれが実際の使用状況に相応しいか、環境保護の目的に沿っているか、あるいは従業員や購入者の健康・安全を損なわないか等については貴社の責任でご判断ください

本品の取扱方法については本 MSDS に含まれる情報を総合的に判断してください。

## 製品安全データシート

### 【管理者情報】

作成・改訂 2011年 1月14日

会社名 株式会社 永瀬スクリーン印刷研究所  
住所 〒452-0931 愛知県清須市一場 386-4  
担当部門 研究開発室 製作担当 伊藤 喜代司  
電話番号 052-400-1341(代) F A X 052-400-7239  
緊急連絡先 上記に同じ

### 【製品名】

ビニエイト

### 【物質の特定】

単一製品・混合物の区別 : 複数原料の混合物  
化学名 :  
成分及び含有量 : 別紙 (但し含有量は公表せず)  
化学式又は構造式 :  
官報公示整理番号 (化審法・安衛法等) : 混合物に付き無し  
CAS No, : 登録無し  
TSCA No, : 登録無し  
国連分類及び国連番号 : 1210  
P R T R 法 該当物質 トルエン キシレン オルソクロルベンゼン  
含有量 2.9% 5.2% 9.9%

### 【危険有害性の分類】

分類の名称 : 消防法 危険物第四類 第二石油類 危険物等級Ⅲ  
(メジューム類 第一石油類 危険物等級Ⅱ)  
有機溶剤中毒予防規則上の分類 第二種有機溶剤  
危険性 : 火気厳禁  
有害性 : 長時間皮膚に浸すと炎症を起す。  
環境影響 : 濃い蒸気を吸入すると、有害で麻酔性がある。

### 【応急措置】

目に入った場合 : 多量の水で良く洗い必要に応じて専門医に見せる。  
皮膚に付着した場合 : 石鹸で良く洗い必要に応じて専門医に見せる。  
吸入した場合 : 高濃度の蒸気を吸入したときは、新鮮な空気のところで回復に努める。  
飲み込んだ場合 : ただちに吐かせて、専門医に見せる。

### 【火災時の処置】

消火方法 : 消火器による初期消火  
消火剤 : 泡消火器、粉末消火器

**【漏出時の処理】**

火気に注意して、ウエス等で拭き取る。

**【取扱い及び保管上の注意】**

取扱い・保管：2008年8月末に、本製品に使用原料 ODCB のメーカーより、長時間の紫外線が当たることにより PCB(ポリ塩化ビフェニル)が微量生成(増加)されるとの報告がありました。

保管は冷暗所で行い、必要量のみ容器より出してご使用ください。

**【暴露防止処置】**

管理濃度	:	混合物に付き測定せず。
許容濃度	:	日本産業衛生学会 ( 年度版) ACGIH ( 年度版)
設備対策	:	作業環境に合わせて局所排気を行う。
保護具	:	呼吸用保護具・・・保護マスク着用 保護眼鏡・・・保護眼鏡着用 保護手袋等・・・保護クリーム等・保護手袋等 保護衣・・・作業着等溶剤を浸透しにくい物を着用

**【物理化学的性質】**

外観等	:	粘稠液体			
沸点	:	℃	蒸気圧	:	mmHg ( °C)
揮発性	:		融点	:	℃
比重	:				
溶解度	水	:	% ( °C)	その他	:

**【危険性情報】**

(安定性・反応性)

引火点	:	16~26.0℃	発火点	:	400℃ 以上	
爆発限界	上限	:	%	下限	:	%
可燃性	:	可燃性液体				
発火性(自然発火性、水との反応性)	:	無し				
酸化性	:	無し				
自己反応性・爆発性	:	無し				
粉塵爆発性	:	無し				
安定性・反応性	:	安定性有り・反応性無し				
その他	:					

**【環境影響情報】**

分解性	:	確認無し
蓄積性	:	確認無し
魚毒性	:	確認無し
その他	:	

---

**【有害性情報】** (人についての症例、免疫的情報を含む)

皮膚腐食性 : 人によりかぶれ等起こることがある。  
刺激性 (皮膚・眼) : 皮膚や眼に付いたり入った時は刺激がある。  
感作性 : 確認無し  
急性毒性 (50%致死量等を含む) : 確認無し  
亜急性毒性 : 確認無し  
慢性毒性 : 確認無し  
がん原性 : 確認無し  
変異原性 (微生物・染色体異常) : 確認無し  
生殖毒性 : 確認無し  
催奇形性 : 確認無し  
その他 (水と反応して有毒なガスを発生する等を含む) :

---

**【廃棄上の注意】**

外部に漏れない状態で専門業者に任せる。

---

**【輸送上の注意】**

危険物の運搬に準ずる。

---

**【適用法令】**

消防法・労働安全衛生法

---

**【その他】**

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載データや評価に関しては、いかなる保証を成すものではありません。また記載事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

## 成分・危険物等の内容証明書

商 品 名	ビニエイト				Lot No.	
用 途	スクリーン印刷用					
成 分 (化学名)	樹 脂	メタアクリル樹脂塩ビ酢ビ共重合樹脂混合				
	溶 剤	高沸点芳香族炭化水素		引火点 42℃	沸点 178℃	
		酢酸 3-メトキシブチル		引火点 77℃	沸点 175℃	
		シクロヘキサノン		引火点 54℃	沸点 155℃	
		オルソジクロロベンゼン		引火点 73℃	沸点 180℃	
	着 色 剤		有機顔料、無機顔料 他			
上記商品の 引火点		引火点 16～26.0℃				
発火点		発火点 400℃以上				
性 質	外 観	固体	紛体	液体	粘稠液体	
	臭 い	無 ・ 有 (有機溶剤臭)				
梱 包 形 態	荷 姿	内装 ポリエチレン袋		外装 金属容器		
	1 kg入り・その他					
危険物の分類	第 四 類 第 二 石 油 類 (IMDG 3.3-III) (メジューム類 第一石油類 (IMDG 3.2-II))					
防 災 措 置	取扱上の注意	火 気 厳 禁				
	有 害 性	長時間皮膚に浸すと炎症を起こす。 濃い蒸気を吸入すると、有害で麻酔性がある。				
	取扱上の保護具	必要に応じて保護手袋、保護メガネ、防毒マスク等を着用する。				
	救急処置 (人体・貨物)	目や皮膚についた場合は、多量の水で良く洗う。 必要に応じて専門医に見せる。				
		高濃度の蒸気を吸引した時は新鮮な空気の所で回復に努める。 泡消火器・粉末消火器				
備 考	許容濃度・経口毒性等は確認していません。					

株式会社 永瀬スクリーン印刷研究所

〒452 - 0931

愛知県清須市一場 386 - 4

TEL052 (400) 1341

FAX052 (400) 7239

特15-320A  
5/2

157111~157143  
特15-320A~323C(オーバーフィルム部)  
株式会社 日本緑十字社

製品安全データシート

改定日 2010年5月15日

1. 製品及び会社情報

製品名	ディアフィクス PG-CHI-FG、PG-WHI-FG
会社名	三菱樹脂株式会社
住所	〒103-0021東京都中央区日本橋本石町1-2-2
担当部門	電子・産業フィルム事業部
電話番号	03-3279-3042
FAX番号	03-3279-6677
メールアドレス	mpi7263@cc.mpi.co.jp
緊急連絡電話番号	03-3279-3042
奨励用途及び使用上の制限	カード
整理番号	732-003

2. 危険有害性の要約

GHS分類	: 分類基準に該当しない。
危険有害性	: なし
環境影響	: なし
注意	: シートのエッジで切傷したり、シートが割れて破片が飛散することがある。 また、溶融物に直接触れると火傷する。
燃焼性	: 可燃性

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区別	: 混合物(異なる混合物からなる2種3層構成のシート)
官報公示整理番号(化審法)	: 共重合ポリエステル 非公開 アクリル系衝撃改良剤 未公開 メチルメタクリレート/ブタジエン/スチレン共重合体系衝撃改良剤 非公開

酸化チタン	(1)-558
滑剤	非公開

官報公示整理番号(安衛法) : 酸化チタン(通番191)

成分及び含有量:

成分	含有量	CAS No
PG-CHI-FG		
共重合ポリエステル	93~98%	25640-14-6
メチルメタクリレート/ブタジエン/スチレン共重合体系衝撃改良剤		



	2～6%	非公開
滑剤	<1%	非公開
PG-WHI-FG		
共重合ポリエステル	82～88%	非公開
アクリル系衝撃改良剤	2～6%	143106-82-5
白色顔料(酸化チタン)	7～12%	13463-67-7
滑剤	<1%	非公開

#### 4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で目を洗淨する。異物感があれば医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 溶融物に触れて火傷した場合は、出来るだけ早く冷やす。
- 飲み込んだ場合 : 破片を飲み込んだ場合、本品は胃腸器官に吸収されないの  
で、嘔吐させる必要はないが、腹痛等の症状が出た時は、直ちに  
医師の手当てを受ける。
- 燃焼ガスを吸飲した場合 : 溶融物のガスを吸って気分が悪くなった場合は、直ちに空気  
の新鮮な場所に移し、症状が改善しなければ医師の手当てを受  
ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 呼吸保護具と防火保護具を着用して消火する。
- 消火剤 : 水噴射又は粉末消火剤
- その他 : 焼却すると黒煙、刺激性のガス(主成分:二酸化炭素、一酸化  
炭素等)が発生するので、吸収しないよう換気を十分にし、空気呼  
吸器等の防護処置をすること。  
粉体は爆発性粉塵を形成することがある。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 形状のある固体であり、該当する事項はない。
- 環境に対する注意事項 : 自然下では分解しにくいいため、漏出時はすみやかに回収する事。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : シート梱包品は重量物なので、荷扱いの際は手足の保護、腰  
痛防止のための適切な治具を用いる。また、シートのエッジで  
切傷しない様に注意する。
- 火災・爆発の予防 : 火気を近づけず、酸化剤との接触を避ける。粉塵の発生とそ  
の蓄積を避ける。
- 保管 : 直射日光の当たらない屋内で、熱、発火源から離れた場所で、  
急激な温度変化を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度		: 規定なし
許容濃度		
日本産業衛生学会		: 規定なし
ACGIH		: 規定なし
設備対策		: 熱プレス作業場には一般的な換気装置による換気が必要。不十分な換気状況では、現場に局所排気装置を設置、密閉設備にするか、呼吸保護具を使用する。
保護具	呼吸用保護具	: 換気不十分な熱プレス作業場では必要
	保護眼鏡	: 熱プレス作業場では必要
	保護手袋	: 熱プレス作業場では必要
	保護衣	: 消火時には必要

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等		: シート状
色		: ナチュラル(ディアフィクスPG-CHI-FG) ホワイト(ディアフィクスPG-WHI-FG)
沸点		: なし
蒸気圧		: なし
融点		: 約60℃から徐々に軟化し始める。
比重または嵩比重		: 約1.3(PG-CHI-FG) 約1.4(PG-WHI-FG)
溶解性(水)		: 溶解しない
臭い		: 軽微

---

## 10. 安定性及び反応性

可燃性		: あり
引火点、発火点		: 特定できない
自己発火性		: 自己発火温度454℃(共重合ポリエステル単体の参考値)
爆発濃度範囲(上限、下限)		: 知見なし
酸化性		: 一般的な貯蔵、取り扱いにおいては、なし
重合性		: なし
打撃感度性		: なし
安定性・反応性		: 強い酸化剤に反応することがある

---

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性	: 知見なし
刺激性(皮膚、目)	: 知見なし
感応性	: 知見なし
急性毒性(50%致死量等を含む)	: 知見なし
亜急性毒性	: 知見なし
慢性毒性	: 知見なし
がん原性	: 知見なし
変異原性(微生物、染色体異常)	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
催奇形性	: 知見なし

---

## 12. 環境影響情報

分散性	: 知見なし
蓄積性	: 知見なし
魚毒性	: 知見なし
その他	: 海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

---

## 13. 廃棄上の注意

排出、処理、処分方法は、国・地方自治体の法律に従い、公的機関の承認を受けた産業廃棄物取扱業者に依頼して処理を行う。

---

## 14. 輸送上の注意

取り扱いおよび保管方法と同じ。多段積みを行わず、荷崩れに注意して輸送する。

---

## 15. 適用法令

消防法	: 指定可燃物 該当する(3000kg以上) 危険物 該当せず
廃棄物処理法	: 廃プラスチック類

---

## 16. その他の情報

### 記載内容の取り扱い

上記の情報は、今日までに入手できる最上のデータに基づいて作成されています。物理的・化学的物性または、危険性に関していかなる保証も含まれておりません。注意事項は通常の手配の場合のみであり、特別な取り扱いの場合には、用途と使用方法を斟酌して安全上の注意を払うようにお願いします。

以上

---